

【 会 議 録 （ 概 要 ） 】

実施日時： 令和4年(2022年)8月26日(金) 午前10時～12時

会議名	越谷市行政経営審議会 令和4年度第1回会議	実施場所	中央市民会館5階 第2・3会議室
件名/議題	【令和4年度第1回会議】 1 開会 2 議事 報告事項 (1) 第5次越谷市総合振興計画前期基本計画に係る令和3年度進捗状況について (2) 第7次越谷市行政改革大綱 令和3年度取組結果について 3 その他 4 閉会		会議資料: (■有 □無)
出席者等	出席委員(五十音順) 浅野委員、宇田委員、大谷委員、狩野委員、後藤委員、斉藤委員、鈴木委員、 高橋(晶)委員、高橋(扶)委員、田辺委員、戸張委員、野口委員、檜垣委員、山下委員 欠席委員 野澤委員 事務局 永福行財政部長、井上行政管理課長 行政管理課:和田調整幹、桑原主任、菅澤主事 政策課:山元政策課長、倉澤副課長、黒澤主幹 傍聴人 なし		
●主な意見等			
【令和4年度第1回会議】 1 報告事項「第5次越谷市総合振興計画前期基本計画に係る令和3年度進捗状況」について <ul style="list-style-type: none">第5次総合振興計画61ページにある一般会計の財政予測と、各分野の取組に対する資源投入・配分量との関連を明確にしたほうがよい。世の中の流れが速くなってきているため、次の計画策定時には計画期間を検討したほうがよい。			
2 報告事項「第7次越谷市行政改革大綱 令和3年度取組結果」について <ul style="list-style-type: none">報告書内の年号表記について、西暦表記もあれば分かりやすい。現在の社会情勢の影響によって人間関係の希薄化が進んでいるため、研修を通じ人との交流を増やしてほしい。また、DX 推進についても研修で取り組んでいてもらいたい。取組を行うことで出た効果について、見せ方を検討する必要がある。単年度ごとの報告ではなく、投入経費に対する将来的効果を示すのもいいのではないか。5カ年計画となっているが、少し長く感じるため、臨機応変に対応する部分と中長期的に対応する部分とのハイブリット型で対応するように、制度運用の形式についても検討する必要がある。公共下水道の経営改善について、効果額全体に占める割合も大きいため、現在の社会情勢を踏まえた上で、今後効果をどうしていくか検討する必要がある。AI・RPA を取り入れ、省力化できた人材を対人サービスなど機械では代替できない部分へ充ててほしい。報告書の達成状況の評価について、各年度ごとにグラフを使用し、より見やすくしていただきたい。			

○行政管理課調整幹

ただいまより、令和4年度第1回越谷市行政経営審議会を開催させていただきます。

まず事前に送付させていただいた資料の確認をさせていただきます。資料1の(1)第5次総合振興計画前期基本計画進捗状況報告書、次に資料1の(2)の① 第7次越谷市行政改革大綱令和3年度取組結果報告書、資料1の(2)の② 越谷市行政改革の取組実績になります。また、本日参考資料として、第5次越谷市総合振興計画第一期実施計画、また第5次越谷市総合振興計画前期基本計画令和4年度予算措置状況をお手元に置かせていただきました。今説明した資料について何かご不足等ありますでしょうか。

また、ご意見等ある場合には、事務局の方がマイクをお持ちいたしますので、よろしく願いいたします。それでは会長に議事進行をお願いさせていただきたいと思っております。

○議長

改めまして議長を務めさせていただきます、ご協力よろしくお願いいたします。

事務局に確認いたします。本日傍聴者はいらっしゃいますか。

○行政管理課調整幹

おりません。

○議長

初めに、報告事項の(1)第5次総合振興計画前期基本計画令和3年度進捗状況について政策課より説明をお願いします。

○政策課長

「第5次越谷市総合振興計画前期基本計画令和3年度進捗状況」について説明させていただきます。総合振興計画は、本市が行うすべての施策や事業の根拠となり、まちづくりの方針を定めた重要な計画であることから、越谷市行政経営審議会設置条例第2条に規定される審議会の所管事項「市政に関する重要事項」に該当するものとして、計画の進捗状況をご報告させていただくものです。

前期基本計画の進捗状況について、お手数ですが、会議資料1—(1)「第5次越谷市総合振興計画 前期基本計画進捗状況報告書 令和3年度」の2ページをお願いします。「2 進捗管理について」をご覧ください。第5次総合振興計画 前期基本計画の進捗管理の考え方についてですが、四角い枠の中、一つ目の・点のとおり、前期基本計画では、先ほど計画の構成等でご説明しましたとおり、6つのまちづくりの目標(大綱)の大項目ごとに定めた「めざす姿」の達成度を測るために設定した「達成指標」により進捗管理を行います。具体的には、計画期間中(令和3年度から令和7年度)については、各年度の実績値を把握します。そして、計画期間終了時には、令和7年度の実績値により、目標値の達成状況を判定します。また、二つ目の・点のとおり、目標の達成に向けた行政の主な取り組みの実績を示すために設定した「活動指標」については、計画期間中の各年度の実績値を把握します。次に、3ページの「(2) 報告書の見かた」をご覧ください。上段が達成指標になりますが、先ほどご説明したとおり、計画期間中(令和3年度～令和7年度)の各年度については、実績値を把握し、記載します。そして目標年度である令和7年度に、目標値に対する達成状況を評価、明記します。下段は活動指標になりますが、こちらについては、各年度の実績値の把握、記載のみとします。なお、「取組内容」欄に、その年

度の取組み内容や、今回は、新型コロナウイルス感染症による影響などを記載しております。次に、8ページをお願いします。参考としまして、分野別計画の大綱1の大項目1「市民参加と協働による市政を推進する」の進捗についてご覧ください。ここでは、「広報こしがや「お知らせ版」を分かりやすいと思う市民の割合」、「まちづくりへ参加したいと思う市民の割合」、この2つの達成指標の令和3年度の実績を記載しています。次に、9ページをご覧ください。「施策の方向性と主な取組みの状況」として、「111 市政への市民参加を進める」、「112 市民との協働のまちづくりを進める」、「113 情報を提供し、市民との共有を図る」という中項目に対する5つの活動指標の令和3年度の実績値と取組内容を記載しています。10ページ以降についても同様に、大項目ごとの達成指標と中項目ごとの活動指標の令和3年度の実績値を記載しており、78ページ以降に総合戦略の数値目標、KPIの実績値を記載しておりますので、お手数ではございますが、ご確認いただければと思います。

報告は以上でございます。

○議長

ただいまの説明について、何かご意見等ありましたらお願いいたします。

○委員

第5次越谷市総合振興計画の61ページにある、計画を進めるにあたっての財政予測を掲載していますが、人・カネ・モノの資源が各分野にどれだけ投入されているのか、計画上示されているところはあるのでしょうか。

○政策課長

具体的に示している部分はありません。

○議長

単年度ごとのリソース配分については予算編成や人員の増減で把握できると思いますが、計画の中でも初年度の規模であった方がいいということでしょうか。

○委員

市民の方々にとっては、予算の情報に加えて、市がどの分野に注力し資源を投入しようとしているのかの情報も、非常に重要なものだと思います。第5次越谷市総合振興計画の61ページで市全体の一般会計の財政状況の見通しは示していただいておりますが、全体と各分野の繋がりが分からない部分があり、資源の投入量等が見えないので私個人としては重要部分がどこか伝わりづらいと感じます。

○議長

他自治体がどのようにしているか、調べるなり確認していただいて次回の課題ということで整理していただければと思います。

○委員

基本計画の5年と基本構想の10年について、今の社会の動きというのは、2年、3年で大きく変わっていくものであり、政府の政策等も変わる中で、それらにどう対応をしていくのでしょうか。

○政策課長

ハード面も含めまして、まちづくりを進めていくにはやはり基本構造として10年スパンを見据えてやっていくべきだと考えております。その時々ニーズに応じて、やるべきことは柔軟に対応していき、大幅に変更しなけ

ればならない場合には改定等を行っていくということも考えています。

○委員

計画を作成した時点での社会問題と、現状ではやはり違うようなところが見受けられます。先ほどの政策課の説明では、時々のニーズに沿った施策も展開していけるということでしたが、どうしても5年・10年というスパンが少し長すぎるなという感じがします。

○議長

世の中の流れが早くなってきているため、計画期間を少し短くするという話がありますが、一方である程度長期的な視野も持っていかなければならない部分もあると思います。ただ、基本計画については市長が変わることで方向性も変わるため、市長の任期に併せて4年で改正するところもありますので、次の計画の作成の際にはご指摘等を参考にいただければと思います。

○委員

1度決めた指標で5年間進捗を見ていかなければならないと思いますが、期間内に見直しができるのでしょうか。

○政策課長

目指す姿に関連する達成指標と、活動量を表す活動指標とセットで策定しておりますので、基本的には固定で考えております。

○議長

対象期間の取組を図る指標を変えてしまうとそれにあたる実績も変わる可能性がありますので、最初にきちんと策定をして、その期間固定で進捗を評価するというのが一般的だと思います。

○委員

活動指標と達成指標の関連や、事業の優先順位を示してもいいのではないかと思います。

○議長

もし新たな項目が必要な場合には追加することは可能でしょうか。

○政策課長

達成指標についても、目指す姿としての成果の部分を表せるであろう分かりやすい指標を庁内や審議会の協議を経て設定しています。同じように活動指標についても様々な施策がある中で、多くある指標の中から代表的な指標を設定しているところです。

○委員

近年では、ジェンダー問題について強く言われるようになり、越谷市としても計画に盛りこんでいくことも必要と考えます。

○議長

総合振興計画に載っていないなくても、男女共同参画のまちづくりや人材育成計画として対応していくところでしょうか。

○政策課長

総合振興計画の本編の87ページに、総合計画ということで、情報量は限られますが、関連計画というものが、基本計画からさらに分野・施策毎の詳細な計画がございます。分野別の取組の詳細については、関連計画で出していくという考えであります。

○議長

他に意見もないようですので、本件についてはこれで終了させていただきたいと思えます。

続きまして、報告事項(2)へ参りたいと思えます。第7次行政改革大綱令和3年度取組結果について、事務局から説明をお願いします。

○行政管理課調整幹

「第7次越谷市行政改革大綱令和3年度取組結果」について、ご報告をさせていただきます。まず、本市の行政改革の今日までの取り組みでございますが、第1次行政改革の初年度に当たります昭和60年度を皮切りに、今日まで第7次にわたり取り組んでいるところです。その目的ですが、市の事務事業において、市民や社会にとって必要な財・サービスの提供を堅持しながら、徹底した効率化とスリム化、スマート化を図ることでコストを削減し、税を含めた自主財源をしっかりと確保することを目的として取り組んでいるものです。現在、令和3年度から令和7年度の5年間を期間として、第7次の行政改革に取り組んでおり、「第7次行政改革大綱」における、実施計画において取り組むべき事項を定め、推進しているところです。本日は、昨年度に実施した取組状況について報告させていただきます。

それでは資料1-(2)-① 1ページをご覧ください。第7次行政改革大綱の実施状況として概要を掲載しております。令和3年度は、第7次行政改革の初年度となりますが、合計で37件の取組を推進し、うち「実施」が31件、「検討中」が6件となっており、実施率は84%となりました。また、取組における財政的効果額については、1億6609万9千円となっております。その内訳としまして、主な取組と効果額ですが、公共下水道事業の経営改善としまして、下水道使用料の料金体系を改定したことによる効果で、1億3,400万円の増収、総合防災ガイドブックの作成において、広告の掲載と冊子の集約による効果で、2383万5千円の削減などとなっております。なお、財政的効果額については、経費削減や歳入確保といった効果額から、イニシャルコストなど経費を差し引いた額を計上しています。次に、資料2ページには、行政改革大綱実施計画の体系図を掲載しております。この体系図に沿った取組として、令和3年度は37件の取組を推進しており、その状況について、資料3ページ4ページに一覧を掲載しております。先ほどご説明しましたが、実施が31件、検討が6件となっております。なお、検討中の6件につきましては、すべて令和4年度～6年度には実施予定となっております。各取組の実施内容や効果については、資料6ページ以降に掲載しております。評価が「AA」「B」となったもののうち、主だったものを説明させていただきます。6ページの No.1、危機管理室の「総合防災ガイドブックの作成」の取組ですが、総合防災ガイドブックに有料広告を掲載し、歳入確保を図るもので、その効果として300万円、また、冊子を集約することにより、2083万円の経費削減が図られたため、「AA」評価となりました。10ページの No.11、下水道経営課の「公共下水道事業の経営改善」の取組ですが、料金体系の改定により、経営改善化を図るもので、令和3年度は効果として1億3400万円の歳入確保が図られましたが、コロナ禍の影響もあり、大口使用者である商業施設などの使用水量が減少したため、目標の1億6千万円は下回ったため「B」評価となりました。1

1ページのNo.12、下水道経営課の「公共下水道における水洗化の促進」の取組ですが、公共下水道の未接続世帯に対し、水洗化の普及促進を図るもので、令和3年度は、目標を上回る約190万円の歳入確保が図られたため、「AA」評価となりました。14ページのNo.20、行政デジタル推進課の「情報セキュリティ対策の継続」の取組ですが、情報セキュリティの研修や監査の実施によって、情報セキュリティの強化を図っていますが、結果として令和3年度のセキュリティ事故の件数が減少していないため、「B」評価となりました。資料24ページ、25ページには財政的効果額一覧を掲載しており、効果額の出ている10件の取り組みで、計1億6609万9千円となっております。資料26ページから28ページには、取組別定量的効果の推移を掲載しております。今回は行政改革の初年度となりますので、令和3年度のみ記載となっておりますが、今後は毎年度の効果額の推移を確認できるように掲載していきます。なお、これらの報告書については、今後、市のホームページで公表する予定です。

報告については以上でございます。

○議長

ただいまの説明について、ご意見等ありましたらお願いいたします。

○委員

行政改革の基本の1つとして定量的効果と定性的効果があると思います。定量的効果としては、費用対効果が重要であり、また定性的効果としては行政的ニーズに伴いやらなければならない事務があると思っています。また行政改革の基本には、スクラップ・アンド・ビルドもあり、業務の見直しを行い廃止など行っていないと行政として時代の変化に対応できません。そういった観点も踏まえて本報告書の取組について、一つ一つ確認していくのがいいと考えます。

○行政管理課調整幹

今回報告させていただいたのは、達成状況がAAからCの4段階の評価の取組で、先ほど説明を行ったものは計画と乖離があったAAとBの取組となっております。件数について、37件と多くあるため、今回の報告では主だったものを報告いたしました。

○議長

質疑内容として、投入コストとスクラップ・アンド・ビルドもあったと思いますが、その点についてはどうでしょうか。

○行政管理課調整幹

定量的効果に係る取組については、イニシャルコストや導入経費を差し引いた上での効果額を計上しています。人件費の削減額や経費の削減額、時間短縮や、導入経費などを報告いただいた上で、最終的に効果額を掲載させていただいております。

○行政管理課長

スクラップ・アンド・ビルドについても、これまでの第7次行政改革に至るまで、組織や施設、また制度など、それぞれの必要性を見直した上で、廃止を行い、その部分の経費を別の部分へ使っていくといった実績もあります。例えば、施設の見直しであるならば、看護専門学校があり、必要意義が薄くなったということで廃止を行い、

制度の見直しですと、交通災害共済事業会計のような交通災害に係る共済保険というようなものも、必要意義が薄れてきたということで廃止を行った例もあります。年々高まる行政ニーズの中で、スクラップ・アンド・ビルドの取組等きちんと意識を持って今後も取り組んでいきたいと考えています。

○委員

実際のところ、越谷市では行政ニーズの高まりがある中で、手を付けきれないと見受けられます。庁内の業務についても、コロナ禍で事業の中止や延長がある中で超過勤務が増加しており、No.2のAI・RPA活用による業務効率化と市民サービスの向上の取組としても評価どおり実績があがっているかどうかというのは疑問に感じます。

○議長

議事進行上、時間の関係から一部抜粋して報告しており、事前に資料を送付することで、それぞれ疑義のある部分が出ているかと思います。全ての質問に対応するというのは難しいと思いますが、疑義の出た部分については事務局が対応できると思います。その他の部分としてNo.15適正な定員管理と効率的な組織整備にも関わっているかと思いますが、指摘を受けて事務局の方から説明をお願いします。

○行政管理課長

現在、保健所業務がひっ迫しており、市全体としてそれぞれの課所から応援職員を派遣し対応しています。そういったことから、派遣先の課においても組織体制が薄くなり、超過勤務が増加している現状があります。職員で行う仕事を機械で行い、より効率化できるようNO.2 AI・RPAによる業務効率化と市民サービスの向上といった取組も積極的に取り入れ、超過勤務の縮減を図っていきます。

No.15適正な定員管理効率的な組織整備の取組からも、機械に任せられる業務は機械に任せ、民間委託の検討や会計年度任用職員の活用など、業務の平準化を図っていく一方で、職員の増員による長期的な義務的経費の増加など別の問題の発生も考慮しながら進めていきます。

○議長

職員数の問題については、現在地方公務員の定年延長が計画され、定員管理も精査が必要になってくると思います。

○委員

この報告書に書いている取組以外にも、行革の取組としてはもっとたくさんあるのではないのでしょうか。もしそうであれば、きちんと取組として載せるべきだと思います。また、他にもいくつか確認したいところがございます。

個別の取組に対する質問

最後に、年号について、西暦表記をしていただければ分かりやすいため、検討の方お願いいたします。

○委員

現在の社会情勢の影響によって人間関係が希薄化しており、これらを解消するために研修を通じて人との交流を増やして欲しいと思います。また、DX推進が進められている中で、行政デジタル推進課の取組もあるように、研修を引き続き行ってもらいたいです。

○議長

事務局の方から所管課である人事課に伝えていただければと思います。

○委員

公表ベースで事前に資料を頂いていて、報告書に出ていない情報もある中で、分からない情報は事前に質問させていただき、疑問を解消した上で会議に臨みたいと思いました。

内容について、他自治体でも取組の進捗状況で効果額等公表していると思いますが、山下委員がおっしゃったように、スクラップ・アンド・ビルドというのは重要であると感じます。今回の行革の取組の中には、プロセスを見直す取組や、AI・RPA導入による人件費削減の取組がある一方で、施設管理費の削減の取組があるなど予算の立て方次第で効果が出てしまうような取組もあり、これを効果と呼ぶのは少し疑問に感じます。取組の効果の見せ方は検討し、工夫する必要があると思いました。多くの取組を出すことが目的ではなく、職員の負担軽減や市民サービス向上、市全体の財政負担軽減が本来の目的なため、単年度での報告ではなく、投資対しの将来的効果を示すといった観点もいいのではないかと思います。報告事項(1)の総合振興計画で各分野での効果を示した上で行革として取組を行うことで、将来的な財政負担軽減や財源確保がされればより市全体の取組として体系立っても見ることができると感じました。その際に、報告書には載っていない部分で、効果額以上に経費がかかっているのは本末転倒なため、報告する形式について検討する必要があると思います。

その他の部分として、5ヶ年計画となっていると思いますが、少し長く感じるため、臨機応変に対応する部分と、中長期的に対応する部分とのハイブリッド型のようにしていけば、よりよい取組となっていくと思いますので、制度運用の改善も検討していければと思います。

○議長

資料については、出来る限り早めに送っていただき、事前質問に対応できればと思います。また、取組としては、他の自治体では単位コストを意識したやり方もあるため、そういった部分も含め検討していただければと思います。

○委員

「6 財政的効果額一覧」の中で、AI・RPA 活用による業務効率化と市民サービス向上について、委託費は人件費削減に替わって計上され続けていくのでしょうか。また、公共下水道事業の経営改善について、効果額全体に占める割合も大きいため、下水道事業に関連する事業として、例えば、汚泥の堆肥化など、もし収益事業になるのであれば、現在の輸入肥料の高騰の背景を含め、安価な肥料を農業者は喜ぶため、事業や効果としてどうなのかというのは検討する必要があると思いました。

○行政管理課調整幹

RPA等の投入経費について、システム運用支援やライセンスの使用料等を含め経費の総額として962万2千円となっています。また経費削減に係る人件費の削減としては、RPAによる自動化によって削減された時間数を人件費に換算し、効果額として計上しています。

○議長

効果について、ランニングコストは5カ年分で計上されているものでしょうか。

○行政管理課調整幹

運用支援等のランニングコストとしては単年度分で計上されています。来年度以降もコストとしてかかりますが、RPA導入事務もその分増えていきますので、コストを上回る効果額が出る予定となっています。

○委員

先ほどお話しがあったAI・RPA活用に係る人件費ですが、今10事業となっている課の担当職員の超過勤務時間が減るという理解でよろしいでしょうか。

○行政管理課調整幹

あくまでも、RPAを導入した上で今まで職員が作業を行っていた時間数がどれだけ減らせたかというものになっております。なので、他の業務状況によって変わってくる部分があるかと思いますので、一概に超過勤務時間が削減できるとは言えないと思います。

○委員

管理部門と実施部門とに分けて考えると、管理部門は出来るだけAI・RPA等を取り入れて省力化し、その分の人材を対人サービスなど機械に代替できない部分へ充てていくような流れがいいと思います。人を減らすのではなく、人の配置を変えていくような考え方を持って今後も推進して行ってほしいです。

○委員

今後もスクラップ・アンド・ビルドを推進し、「無理・無駄・ムラ」といった部分をなくし、合理化を進めていただければと思います。また、報告書の形式について、達成状況にあるそれぞれの評価について、各年度ごとにグラフを使って見える化していただければより見やすくなると感じました。

○議長

ありがとうございます。何人かの委員から、コストアンドベネフィットの部分が見える化してほしいという意見がありましたので、事務局の方で検討していただければと思います。

他に意見がないようですので、2つ目の議題をこれで終了とさせていただきたいと思えます。その他事務局から何かございますでしょうか。

○行政管理課調整幹

連絡事項が2点ございます。まず1点目ですが、本日の会議録につきましては事務局の方で作成させていただき、委員の皆様にもメールで送付させていただきます。また、会議の中で頂いた質問事項等につきましても、回答をメールの方で送付させていただきますので、内容等のご確認をお願いします。確認させていただいた後、会議録をホームページで公表させていただきますので、ご了承ください。

2点目ですが、次回の会議でございますが、令和4年度行政評価の取組結果等の報告を予定させていただいております。開催時期につきましては、会長とご相談をさせていただいた上改めてお知らせをさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○委員

リモート会議等が続いている中、久しぶりの開催ということで貴重なご意見がありましたが、できるだけ委員皆様から意見をいただけるよう発言していただけるようお願いいたします。

○議長

以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。